

第1回在宅医療・介護連携推進会議要旨

【日時】 令和5年5月24日（火）13時30分～14時00分

【場所】 各務原市産業文化センター4階第1学習室

【出席者】

委員（敬称略）

酒井 聡 平野 良尚 山本 相浩 杉本 光庸 小林 敦 竹内 秀俊
天野 雄平 山田 泉 立川 智恵子 森下 裕之 渡邊 みどり 森 裕充
後藤 和代 林 寿子 濱田 幸枝 小川 晃 計16名

事務局

宇佐見 謙一 長尾 優花（高齢福祉課）
中平 民恵（在宅医療・介護連携支援ステーション）
岡田 智恵（在宅歯科医療・介護連携支援室 歯びねす） 計4名

【議事】 令和5年度各務原市在宅医療・介護連携推進事業計画

- (1) 多職種連携におけるICTの活用研修会
- (2) 人生会議の普及啓発

【要旨】

◆ 開会

人事異動に伴うあいさつ

◆ 課長・会長あいさつ

◆ 議事

令和5年度の事業計画について

令和5年度の事業計画「(1)多職種連携におけるICT活用研修会の開催、(2)人生会議の普及啓発」について説明。

はじめに事務局（高齢福祉課）より説明

(1)多職種連携におけるICT活用研修会の開催について

- 令和4年度第2回の会議で報告したICT活用に関するアンケート結果（※1）を踏まえ、ICT活用研修会を開催することを説明（開催日：令和6年1月25日）。
- ※1…モバイル端末を導入し、MCSを使用できる環境にある事業所は多いものの、MCSを知らない専門職が多く、導入の可否の判断もついていない。

(2) 人生会議の普及啓発について

- 今年度の計画を「出前講座や人生会議フォーラムにより、一般高齢者や市民への普及啓発を進める」「専門職への人生会議の浸透を深める」とし、出前講座の実施や人生会議フォーラムの開催、専門職への人生会議の浸透を進めていくことを説明。
- 上記出前講座の実施や人生会議フォーラムの開催、専門職への人生会議の浸透など、市民及び専門職職員への普及啓発方法について検討する組織として「人生会議普及啓発推進委員会」を立ち上げたことを説明。
- 5月18日の第1回人生会議普及啓発推進委員会、5月13日、23日の人生会議出前講座の活動報告をし、今後の開催予定についても説明。

次に在宅医療・介護支援ステーションより説明

- ALPという視点を採用する各務原市では、市民にとって受け止めづらい「命」からではなく、「人生」「生活」について考えることからスタートさせており、さらに「どのように死ぬのか」ではなく「どのように生き抜くのか」をテーマにしていることを説明。
- 各務原市では2025年まで、「人生」について考えることを中心とした人生会議普及啓発を行っていく予定である。そして、2040年・2050年（多元化社会）を迎えたとき、命について話し合うACP（アドバンス・ケア・プランニング）が当たり前になっている世の中を目指していくことを説明。
- 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスにおいて、本人と医療・ケアチームとの十分な話し合いを行い、本人による意思決定を基本としたうえで、人生の最終段階における医療・ケアを進めることが重要であり、また、この「本人による意思決定」を支援するため、日常的に話し合える環境づくりや、本人と家族等の信頼できる者での話し合いを繰り返し行うことによる意思決定支援が重要である。そしてこのプロセスにおいて話し合った内容の情報共有手段として、「カンファレンス」や「通信技術」等があるため、各務原市として「何を」「どのような場面」で活用していくことが適切であるか検討する必要がある。しかし、昨年度実施した調査において、ICTのことを知らない方が6割を占めていたことから、まずはICTを活用している他自治体における情報と合わせて、実際に市内にて使用され始めているMCSの紹介をする「ICT活用研修会」を開催することを説明。

◆ 事務局からの連絡

- 在宅医療・介護連携推進事業で行う研修会等の案内
- 次回在宅医療・介護連携推進会議の案内

◆ 閉会